広報横芝

3月は	国保税	第10期	納期です
	有線使用料	第6期	
4月は	軽自動車税		
	年金保険料	第1期	
5月は	固定資産税		
	有線使用料	第1期	

〔完納に　明るい笑顔の　町ずくり〕

公社接続に踏切った有線放送

更に小中学生の学校生活の録音放送も計画

公社接続に改修準備中の横芝町有線放送電話では、運営委員会が中心となって有線放送の広報的使命の効果を、より良くするため、教育委員会事務局及び各小学校と打ち合せ、マイクを通して、児童の声を毎朝放送しているが「まだ物足らない、いま一歩突込んだ利用を」との保護者の声が強いので、四月からは教育長、学校放送主事等による放送委員会（仮称）を設けて週少なくとも二回位は、学校放送の時間を設け、又青少年健全育成の実態等も放送する計画をしている。茶の間に集まったおちいちゃん、おばあちゃん、お母さん、そして妹さんが、お孫さんの、お子様の、そしてお姉さんの学校における生活を、有線のテレホーンから聞くことの出来るのも間近いことであろう。

尚、有線放送運営委員会では、これからは議会の決議事項、地域の出来事等もマイクを通じて迅速におしらせすることも研究中であるという。

◎有線の申込みは一応二月中で締切りましたが、まだ全然申込書の出ない部落があるようです。お配りした印刷物の関係もあり、又何か途中で渋滞している向も考えられますので、三月二十五日まで受付けを延期しました。（但し一、七〇〇戸に達しますと期限内でも締切ります）

若し、手続き其他お分かりになりません時は、印鑑を持って直接役場においで下さい。

郷土の先覚者の碑等を

清掃する青少年相談員

横芝町青少年相談員協議会では、花いっぱい運動、桜の植樹等と、地域環境の浄化に努めているが、今年度最後の行事として、郷土の先覚者、海保漁村、安塚光太郎両先生の碑や忠魂碑等を清掃し、更に東部土地改良区第一号用水堤の桜並木の手入れも行なった。毎度「青少年の善導は、環境の浄化か！」のモットーを掲げて活躍する、わが町の青少年相談員は、町民の一般から、「頼りになる指導階層」と、大きな期待を寄せられている。

尚、昨年青少年相談員の諸君が植樹した、桜の苗木は、すくすくと伸びて、ふる里の話題の桜のよう、鳥喰耕地整理後の農道に咲誇る時、横芝町には、良き青年美わしい心を持った人々の花が豊かに咲き乱れるであろう。

上堺小学校に

夢の体育館

教育委員会では、屋内運動が出来ず、雨の折等に窓から恨めしそうに空を眺めている子供達のために、本年度からの継続工事として屋内体育館を建設することになった。

総面積　一三二坪　鉄骨造り

工費　八七四万円ですでに地鎮祭も終り近く着工する。

第一号用水堤の桜並木で天狗巣病を取り除く青少年相談員

郡町村会表彰に輝く

瀬理　通氏

永年勤続表彰で　本間・大木両氏

山武郡町村会では、昭和四十一年二月十二日、山武産業振興会館で、町村議員の功労者を表彰したが、横芝町からは、農業相談所長、瀬理通氏が此の栄ある受表者に選ばれた。氏は、産業課長、総合農業相談所長等の役場の職務を歴任しそれ以前に県の農業会の技術員等の要職に在った手腕を生かした。産業面に果した功績を認められたもの。又本間重寿、大木ユキ両氏も、永年勤続（共に二五年）者として、全国町村会から表彰され、三月八日に役場会議室でその伝達式が行なわれた。

三沢地方の大火

義損金

青森県三沢地方の大火に対する義損金は、二月二十五日現在で三十二地区の御協力、（総額四万七千百拾円）が届いています。役場厚生課では一応締切り、皆様の御芳志を三沢市宛に発送することにいたしました。二月二十六日からの分は三月末にまとめて再発送する予定です。

新入学の子供さんをお持ちの方々に！

◎まずからだの準備をからだはすべての基礎

入学準備でいちばん大事なことは健康です。健康なからだであれば、知能はそれについて発達します。

つぎのような病気が発見されたら入学前に治療しておくことです。（トラホーム・はやり目（結膜炎）・しっしん・白せん・水ぼうそう・かいせんなど）

◎予防接種もわすれずに

学校は集団生活です。伝染病にかかったら、みんなが迷惑をします。ジフテリア・種痘・チフスなどの予防接種は、必ず受けてください。

◎医者の指示にしたがって生活環境が変化します

それだけ体力を消耗しますから「おかしいな」と思ったら、しろうと治療をすることなく、医者の診断を受け、その指示にしたがうようにしてください。

小学校は、いいところあがってみても、いいところ

「いいこと。いよいよ小学校よ！小学校は幼稚園とちがって、先生もきびしいのよ。勉強をしないと、すぐに叱られるんだから」「………」

こういったとき、お子さんの目をみてごらんなさい。（何だか知らないが、小学校って不安な場所なのだな、こわいな。）

そのおびえた、かわいそうな目……。

「こんなことができないと、小学校へはいってから、みんなに笑われますよ。」とか、「そんなにやさしいことが覚えられないようじゃ、先生にしかられますよ。」

というように、こまるぞ〈小学校へはいってから〉という恐怖を利用して、お子さんに何かを教えたり、習わせたりしないことです。

お子さんは、まだあがりもしない小学校を、「小学校はいやなところだなあ。小学校は大きらいだよ！」と、すでに不安な場所と考えてしまいます。

■春と乳幼児■

三、四、五月頃の暖かい春の気候は誰でも体全体がのびのびと成長するように感じられます。たしかに全ての生物はこの季節に成長することは事実です。

然し春は寒い冬と比べて、かえって風邪を引く人が多いのはどうした訳でしょう。

これは寒暖に対して私たちの皮膚の調節がうまくとれないのも大きな原因ですが、それ以外にこの時期には特に体内のビタミンが非常に少なくなっているため病気をするのだとも言われています。

夏から秋にかけて貯えられたビタミンも冬の間に使いつくして、もう体内にはビタミン類がないと言う姿が春先です。このため春には病気が多いのです。

だからこの季節には風邪ひきの人や病人のそばに、乳幼児を近づけないこと。着物の調節に気を配ること。肝油やビタミンB剤を補給することなどが強くさけばれているのです。

又この季節には湿疹で悩む子供も多くなりますから、かきくずした所など消毒薬をぬって、ばい菌がはいらぬようにしてやります。湿疹はできるだけ刺戟しないようにしてください。

春は日の光が強く気温も高くなって来ますから子供は外出につれ出して日光浴や外気浴をやるようにしましょう。又着物はいつまでも冬の着物では困ります。寒暖に応じて着せかえましょう

春は乳幼児の野遊びの季節ですが、折角の日曜、天気はよし、今日を逃しては鍛錬の日はないというような気持で無理な野遊びなどは禁物です。軽い疲労は心身に良い影響をあたえますが、過労になると鍛錬どころか、かえって害を伴うことになります。

子供の疲労の最初のあらわれは、不きげんになり、口をきかなくなったり、或は逆に急にはしゃぎ初めたりします。このような場合は注意して早く帰途につくことです。

ふるさとの話題

樹　木　(2)

横芝尋常高等小学校の高等科農業専科訓導吉原先生は、校舎添に流れる土地改良組合の第一号用水路のほとりに立って辺りを眺めていた。昭和五年の四月、新しい尋常一年生が嬉々として学校に通い始めた頃である。麦もすっかり伸び、雲雀は朗らかにさえずっている。カタカタと筆入れの音をさせてカバンをゆすりながら走り去る子供達……麦畑の中に点在する松の林や立木が陽光にゆれている、まことにのどかな田園風景であった。吉原先生は教職にある自分の倖を心から、満喫していた。が、此の風景の中にも何か一つ物足らなさを感じていた。「何だろうか？」そんなことを考えている先生の耳に、音楽室の方から流れてくる唱歌が聞えて来た。

日本の国は花の国
梅、桃、桜、藤、あやめ
白露結ぶその中の
千草の花も面白や、
わきて名に負う
吉野山、一目千本咲満ちて
…………

「……ああ、花だ、花がすくないんだ。若し此の流れに沿った堤が桜だったら随分見事だろうなあ……　あの新らしい帽子に徽章を輝かせながら手を繋いでくる一年生に、ハラハラとふりかかる花びら、水に流れる花びらを追う子供達……霞の奥に消えて行く花の幕……………いいだろうなあ、……………」桜咲く堤の夢を画いていた先生は、ポン、と肩を叩かれて吾に返った。ふり向くと、首席訓導の古谷先生が立っていた。

「吉原先生、何を考えていますか？」

「花、花ですよ、古谷先生、桜の花ですよ」

「……桜！」

「此の堤が、若し桜の並本であったらば随分見事だろう、と考えていたところです」

「うーん、君も考えていたんですか、実は私も桜のことを考えていたんですよ」

「先生が？」

「ああ、此の付近に桜の苗本を植えることを、ね」

「苗木……ですか。しかし、それでは花が咲くのは五年先か、いや並木になるのは十年先のことか分らないでしょう。第一それまで私達が此の学校に……」

「いない、といいたいのかね……吉原君、いや吉原先生、先生は、日光や箱根の杉並木を知っているでしょう。あの杉並木も、植えた時は、みんな苗木だったんですよ、その苗木を植えた大名も決して自分達があの並木を眺めようとは思わなかったんではないかね。いま私達が「立派な世の中のためになる人になれ」と教育している子供達も、本当に世の中のためになってくれるのは、十年、二十年は愚か或いは四十年、五十年後のことかもしれませんよ……」

首席訓導古谷先生の声は次第に熱を帯びて来た。

「……分りました。私は目の先ばかり考えていたようです。間違っていました……古谷先生……二学期には植林の実習があります。その教科に組入れて下さい。そして桜の苗木を植えさせて下さい」

「まあ、まあ急いではいけないよ、校長先生のお考えもあるだろうし、第一、此の堤は土地改良事務所の管理になっているんだから、その了解も得なくてはいけないからね」

……………………

……そんな話があって約半年……堤に樹木を植えることの功罪について論議はあったようだが、中島春吉校長、古谷喜藤次首席訓導、吉原専科訓導の指導で、農業専攻の高等科一、二年生が用水の堤に桜の苗木を植付けている姿が見られた。

——　三十五星霜。当時の桜の苗木は、来る春毎に爛漫と咲き誇り、三百本の老樹は今や近在屈指の名所に数えられている。

横芝駅から上堺方面に向ってまっすぐに県道を下り、舗装道路が途切れると、〃一の橋〃という石橋がある。此の下を流れるのは、山武郡東部土地改良第一号用水路で、その流れに沿って延々二粁にわたって約三百本の桜並木が連なっている。枝振りの風雅さ幹や根張りのたたずまいは、「横芝にこんな立派な桜が」と目を見張らせる。特に春四月ともなれば、若草萌える用水堤は花の幕を引きめぐらし、その姿を流に映して、まことに美しい風情を見せる。商店街の人々は此の桜の下にボンボリ等を配して夜桜を楽しみ、若し揚水を止めて濤底が現われれば、その中に莚や毛氈を敷いて酒盃をかたむける粋人の姿も見られるという。まことに長閑な環境は、駅前の車輛の雑踏を二百米の先に置く地点とは到底想像が出来まい。

◎本稿は、当時の高等科の先徒で、吉原先生や古谷先生の指導により直接桜の植樹をされた方々からお聞きした事柄を収録し、それを元にして創作したものであるが、先生の氏名は、実名通り掲載した。尚、文中の古谷首席訓導（現在の教頭に該当する）は後に校長を勤められた。古谷喜藤次先生で、今もなお元気に松尾町で悠々自適の生活を続けておられることは、案外多くの方々が知っておられるようである。

（文責筆者）

青年館の建設各所に進む

本年度は北清水と本町

横芝町の青年館は、南川岸於幾、沼、と陸続として誕生しているが、本年度は、本町と、北清水西の部落にそれぞれ建設された。共に青年や婦人会、老齢者の寄り所が無かった地区だけに、その喜びは大変なもので、建設に当っての地元民の協力は目覚ましく、全員一致の体勢で、極めて円滑に仕事が運び、開館式には部落民の殆んどが集まりその熱意の程が示された。現在は連日のように各種の集会や研究会等に利用されている。

それぞれの地元普及建設費等は次の通りである。

○本町青年館
総工費　一二九万円
内訳　県補助　五〇万円
町補助　一五万円
地　元　六四万円
木造平家　一六、二五坪　室　三室

○北清水西青年館
総工費一二五万円
内訳　県補助　五〇万円
町補助　一五万円
地　元　六〇万円
木造平屋十五坪　室　二室

何処の青年館でも同じであるが以上の両青年館も、青年の利用ばかりでなく、婦人会PTA、老人クラブは勿論、部落の会合にも利用出来、西の青年館の場合には屋外にバレーボールのコートもあって健全体育の場にもしている。

上は西青年館　下は本町青年館の会議室（左の額は知事書）

土地建物の単位もすべて

メートル法に

期限は三月末日

すでに昭和三十三年十二月三十一日を最後に、今まで日本で使用していた。いわゆる尺貫法と呼ばれる度量衡法の単位は、すべて新らしい計量法によるメートル法単位に切替えられております。一般の商取引及証明登録等の行為は勿論これに依ることになっております。しかも、すでに培われた大正十年以来のメートル法教育の成果と、国民の理解ある協力は、極めて円滑に制度を移行させることが出来ました。しかし、事業継続、其他の手続等の関係から、土地建物の単位呼称に限っては昭和三十四年以降にも旧単位の使用が認められて、田畑の反畝歩、宅地、建物の坪等がこれですが、それも、来る四十一年三月三十一日限りで、アール、ヘクタール、平方メートル等と呼称するようになる訳であります。昭和三十四年以降、農林省、建設省其他の官庁でも全面的なメートル法化の準備は出来あがり此の期限をもって不動産登記手続や税務事務等も統一できることになるのであります。

繰り返していえば、昭和四十一年四月一日以降は、土地建物についての取引、登記申請、税務、公けの証明、業務上の計量行為は、すべてメートル法によらなければならない。残された期限は、わずかであるから、以上の手続を円滑に行なうため、いまからは、即メートル法の、規則を遵守されるよう努力を要望する。

なお、猶予期間というのは「それ以後は、絶対禁止されるから準備をせよ」という期間なのであるから、これからはメートル法以外の計量単位は使用が禁止されるということで、すでに多くの分野で行なわれているように、残っているものも、いち速い切替が期待されている。

駐車禁止になった

一二六号国道外

横芝町を通過する国道一二六号線は、駐車が烈しく、交通障害の原因となっていたが去る二月一日からは、無期限に駐車禁止となった。その範囲は一二六号国道全路線と、駅前から上堺方面に到る道路の一の橋迄大総方面に到る道路大師堂下迄で、何故駐車禁止になったか、の原因を考え、更に厳しい取締りの対象にならないように注意したいものである。「禁止になった当初は、極めて良好に駐車禁止が守られて、殆んど路上駐車が見られなかったが、最近又ポツポツ駐車違反が目につきます。〃喉元すぎれば〃の悪い日本人の癖がさらけ出されたようです。県公安委員会でも厳重取締りの要があるといっているようなので、お互いが自分の車、自分の家の前の駐車違反を繰返さないようにして慾しいものです」或交通安全協会の役員の声であるが、他人ごととは聞けない大事な注意すべき事柄であろう。

豚を飼う人の為に

豚の飼育は年と共に伸びて本町の飼育頭数は、凡そ種豚六百頭、肉豚六千頭と推定されております。豚の飼育で最も恐ろしいのは豚コレラです。現在のような多頭飼育では、広範囲に、しかも急速に伝播全滅する場合も考えられます。その被害は弊殺豚の損害ばかりでなく、若令豚の屠殺も考えられて経済的な損失は実に膨大なものであります。

そこで、予防注射が絶対必要となって来る訳であります。この完璧を期するため四十年四月から〃種牡豚管理者から種付報告を受け、分娩して五十日経ったものを巡回し、仔豚が売却されないうちに予防注射をする〃という方針をとっております。特別の事情がない限り、一回予防注射をしておけば概ね六ケ月有効とされているので肉豚の場合には安心して飼育ができます。繁殖牡豚や種牡豚でも年二回の予防注射で、まず安心と言えると思います。

従って皆様方にお願いしておきたいことは、生後五十日～五十五日頃までは売却を見合せて慾しいのです。予防注射は哺乳中や、離乳後二週間位は免疫効果が少ないからです。予防注射実施済の仔豚には青い耳標を付けることになっておりますので、生産者は耳標と保証書を付けて売ること、購入者は耳標付の仔豚を買うようにお互いに注意したいものです。予防注射は仔豚の中に実施すると料金が安くなります。

本町としては、注射漏れのないよう種牡豚管理者から報告書を受けると共に、飼育者からも分娩後五十日を経過した場合は直ちに注射実施希望日及頭数を産業課に連絡していただき全豚注射に御協力をお願いいたします。

油断大敵、春の火災

予防と空巣の用心

冬の寒さから解放されて、暖房の必要もなくなり、火気に対する関心がうすれて、ホッとした時、火災という、悪魔が忍びよって来ます。毎年冬の次に火災件数が多いのは春、花の候だといわれます。これは、前記のような、火気に対する油断と共に、花に浮かれた開放感が手伝うためです。お互いに充分注意したいものです。それから、火災の次に注意しなければならないのは空巣覗いです。「一寸の時間位」とお使いに出るそのすき間が特に空巣のチャンスだと言われています。〃一寸の留守にも必らず鍵を〃忘れないようにいたしましょう。又、鍵をかけずに出かける時は勿論鍵をかけて出かける時でも、必らず隣に「一寸と出かけますよろしく」と、頼み合うことを申合せておくようにして下さい。

若し、何かありましたならば、有線放送室に緊急連絡をして下さい。お互いに注意と協力で、楽しい春を火災と盗難から守りましょう。

新しく学窓を巣立つ方への社会保険案内

新しく社会人になろうとしている皆さんは、新しい人生に対する期待と抱負に胸をふくらませていることでしょう。これからの長い人生行路のなかでは、いつなんどき病気やけがをしないとは限りません。不幸が訪れるかも知れません。そこで、このようなときの「くらしの保険」になるのが社会保険です。

まずもっとも一般的な健康保険ですが、これは病気になったとき保険で医者にかかるためのものです。

健康保険に加入していますと、初診料の百円だけですみます。また入院した場合でも最初の一ケ月について一日三十円支払うだけです。

この健康保険には、五人以上従業員のいる会社に勤める人はだれでも入らなければなりません。

このほか、厚生年金保険、船員保険、日雇労働者保険、国民年金などがあります。

仂らきながら学ぶ人に

家庭の都合で、高等学校に行けない方は、県立千葉東高の通信教育を受けることをおすすめいたします。

入学試験は面接だけですが中学を卒業していることが必要です。

学資はテキスト代共六千円程度で、年間二十日位のスクーリングがあるだけで、四年か五年で、高等学校卒業資格が得られます。

近年、此々の卒業生で、国立の大学に入学した者が相当あります。

詳細は千葉市轟町、県立千葉東高等学校通信部宛に返信料を付けて問合せて下さい。直接学校に行かれる場合は西千葉駅下車が便利です

手造りの藁草履二百足を

学校に贈った九十一才のおばあさん。学校ではあめ等のお礼！　春の沼にさいた話の花。

横芝町鳥喰新田（俗称沼部落）神子旭さんの母よし（九一）さんは、敬老会等、平素面倒を見てもらう恩返しにと昨年の春頃から藁草履造りをはじめ、今年の正月にはその数が二百足に達したので、横芝小、横芝中の両学校に「手造りで体裁が悪いかもしれませんが」と届けた。九十一才の媼の誠意に感激した学校では、給食用にでも、と使って見ると、よしさんのお宅が農家のためか、材料の藁は上等で豊富に使ってある上に時間に糸目をつけない入念の作とあって、体裁はとも角、履心持は天下一品なので、PTA等大勢の来訪者用に利用してもらっているという。学校では、PTAにも此のことを報告し、横芝小学校では、PTAで感謝の意を表する方法を心配しているというし、横芝中学校では、校長先生とPTA会長さんが、おばあさんが好きだという飴菓子を持ってお礼の訪問をしたということであるが、桜咲く春に先立って美しく咲いた話の花と嬉しい評判となっている。

地域別にみた世帯及人口

統計主事　萩　原　次　朗

二七〇万人を突破するかどうか関心をよんだ千葉県人口も第一表で示すとおり、総人口二七〇一七七〇人、世帯数六三七七二八と発表された。この結果が今後五年間政治経済文化の面に多いに活用されることと思う。人口の伸びは五年間に三九五六七〇人（増加率一七、二%）世帯数も一五四、〇九四（増加率三一、九%）と増加している。このように目覚ましい人口増加を地域別に分析してみると、まず東京に隣接している立地条件から急速に開発されている住宅地の造成、次に臨海内陸工業地帯の発展、又農業地域からの人口移動等があげられる。特に京葉工業地域の伸びは著しく、人口の都市集中化の傾向を強めている。しかしその半面外房、九十九里、東下総地域はどうであろうか。農村地帯においては減少するという事態が一目にして瞭然である。九十九里地域に含まれる当町もそれらに反映してか、第二表が示している。しかし人口減少が必ずしも町の衰退を意味するものではあるまい。

特に当町は立地条件にめぐまれ地形は南北に長方形をなし、町の中央部を千葉～銚子へと国道を基点として東西南北に県道が貫なっており、各種産業も順調に伸びている。ともあれ、人口の大きさはその町の経済性を知る最も重要な役割をはたすものであり、本来人口移動は生活水準と生活環境の相対的に低い地域から高い地域に向って流れて行くものである。

今回の人口分布は県、町行政に重大な問題を持っている。特に減少地域にあってはいかにして人口の流出を喰い止めるかいかなる方策をもって地域格差の是正に努め、豊かな町づくりを築くか等々早急に対策を講ずべきものが多くあろう。

第1表

	昭和35年 国勢調査		昭和40年 国勢調査	
	世帯数	人口	世帯数	人口
京葉	249,881	1,140,996	391,110	1,567,339
九十九里	92,876	467,503	98,093	452,809
東下総	67,995	353,454	72,917	351,937
外房	72,882	344,057	75,608	329,685
県計	**483,634**	**2,306,010**	**637,728**	**2,701,770**

第2表

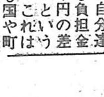
	昭和35年 国勢調査		昭和40年 国勢調査	
	世帯数	人口	世帯数	人口
横芝	1,399	6,595	1,529	6,620
大総	593	3,299	586	2,980
上堺	584	2,968	572	2,662
合計	**2,576**	**12,865**	**2,687**	**12,262**

寸言

有線放送電話の改修について申込を改めて行なう場合、継続申込みと、新規の申込みの負担金に参千円の差額があるのは何故なのか。全面改修なら同額でも良いのではないか。理由を聞きたい。

○座談会の席上でも度々御質問をいただいた問題ですが、今度の改修は全面改修ではありますが、すでにこれからの規格にも使用できる施設になっているところは転用又は利用いたします。特に先般購入した交換台はそのまま使用するのです。そうしたものは、今までの加入者の方々からは納めていただいた料金も投入してあること等を考慮しての差額です。しかし、逆に今までの加入者の方から「自分達はすでに創設の時にも負担金を出しているので参千円の差額ではすくなすぎる」という御意見もありますが、これは開設の時にも又其後も国や町からの補助によって経営の不足を埋めていた点もありますので此の範囲で御了解願いたいと思います。尚大体他の町村でも此の程度で扱っているようです。

有線に加入してまだ一年にも満たないのに又改修負担金を出すのは不合理に思われる何か恩典はないのか。

○ごもっともなお言葉です。運営委員会でも、いろいろ研究して見ましたが、現在の器具は全然使用しないことになっていますので、差額の捻出が難かしいのです。しかし、何等かの補償はしなければならないと思います。金額の点については確約出来ませんが必らず御主旨に添うようにいたします。